

第 82 号【2014/3/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『歯科・歯科口腔外科のご紹介』

歯科 渡辺 仁資

- 医師の配属・異動・退職
- 昭和大学江東豊洲病院のご案内
- 診療統計
- 医療連携室からのお知らせ
- 患者さんへのお知らせ
- TOPICS
- 編集後記



もうすぐ桜の季節です

巻頭言

『歯科・歯科口腔外科のご紹介』



歯科・歯科口腔外科

助教 渡辺 仁資

歯科・歯科口腔外科は平成 23 年 3 月に新規開設し、様々な方たちからのご支援により約 3 年が経過致しましたが、今回改めて当科の診療内容についてご説明したいと思います。

当科は、歯科医師 2 名と歯科衛生士 2 名の計 4 名が勤務しており、月曜日から土曜日までほぼ毎日診療しております。診療内容は、地域医療機関から口腔に関連する特殊な疾患を完全紹介型として診療する「歯科口腔外科」と、医科入院患者さんの口腔内トラブルや医科歯科連携による口腔内管理を中心とした「歯科」の 2 つの診療に従事しております。まず、「歯科口腔外科」の診療内容は、別表に示す通り多岐にわたりますが主に、親知らずの抜歯、顎が腫れた・開かないや口の中のできものの治療などです。これらの診療は、主に外来通院で行いますが、当科で入院しながら診療を受けていただく事も出来ます。例えば、親知らず深く抜歯が困難である、口腔内の外科治療に対する恐怖心が強い、ご病気のため体調やお薬など様々な状況を考慮した診療が必要である、できものが大きく処置に関連して慎重な管理が必要である、など様々な状況に合わせて当科の患者として看護師との入院管理のもと行っております。最近では、様々な分野において外科治療に対する低侵襲治療が盛んに行われておりますが、当科も患者さんの負担を考慮し様々な取り組みを行っております。

口腔内の外科治療は様々な部位に行われますが、手術範囲の制限や術後の影響を考慮した「小さい範囲での処置」という条件と、様々な組織が複雑に存在し術後合併症などを考慮した「安定した視野の確保」という条件の、2 つの相反する条件で行わなければなりません。そこで、当科では術後の腫れが特に起こりやすい顎の骨の外科処置に対して、医科でもよく用いられており先端に小型のカメラが付いた硬性内視鏡を用います。これにより、小さい範囲で確実に病巣の摘出を行うことができ、術後の腫れや合併症を抑制することができます。その為、このような内視鏡下での手術は患者さんにとっても有効であり、できる限り患者さんには提供してまいりたいと思います。また、これら口腔外科治療や歯科診療は不安や緊張を伴うことが多く見られますが、このような状態を和らげリラックスして診療を受ける事ができる補助診療として、胃カメラの時などによく用いられる静脈内鎮静法という方法があります。これを用いることで、気分が落ち着く、治療時間が短く感じる、血圧や脈拍が安定する、吐き気を抑えることができるなどの効果が期待できます。当科においても、この補助療法を歯科麻酔科医と積極的に取り入れ、少しでも多くの患者さんに治療を受けていただく体制を整えております。さらに、上記以外にも口腔内の粘膜や腫瘍病変などは耳鼻咽喉科の先生と、外傷や顎骨の奇形・変形などの疾患は形成外科の先生と協力しながら診察を行っております。

次に、「歯科」診療は、医科入院の患者さんの虫歯、歯周病、義歯の不具合などに対してできる限り症状を緩和し、入院期間中安心してお体の主要な病気の治療に専念していただくためのサポートをしています。さらに、医科主治医の先生方や看護師さんと医科歯科連携を行い、チーム医療の実践も行っております。その取り組みは、チームとして口腔ケアセンターを形成し入院患者さんの口腔衛生状態の管理だけでなく、救急病棟と連携した「肺炎患者さんの口腔内管理」や消化器センターと連携した「食道癌患者さんの周術期口腔内管理」を行ってきました。また、「食道癌患者さんの周術期口腔内管理」については都筑区歯科医師会と連携し、退院後も認定された地域歯科医院にて継続的な診療が行えるような「食道癌患者の都筑区歯科地域連携パス」を行って参りました。このように、院内および地域と連携した入院患者さんの口腔内管理を行っております。

当科は、北部病院内では新しい診療科で連携方法や診療内容などまだまだ発展途上な診療科です。そのため、我々は患者さんはじめ今後も様々な方々からのご支援を賜りながら、口腔の管理から健康維持に支持してまいりたいと思いますので、これからもよろしくお願いたします。最後に当科での診療をご希望される場合には、地域医療機関または当院診療科の主治医の先生方から紹介をいただくとスムーズに行えます。

【主な対象疾患】

埋伏歯などの難抜歯、神経疾患、嚢胞性疾患、炎症性疾患、感染症、外傷性疾患
腫瘍性病変、顎関節疾患、唾液腺疾患・粘膜疾患、歯科補綴関連手術、有病者の歯科治療

硬性内視鏡



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

1月～3月

【新規採用】



松石 純
(麻酔科)
昭和大院
平成 10 年卒



黄 鼎文
(女性骨盤底再建センター)
筑波大学
平成 20 年卒

【附属施設より】



鬼頭 昌大
(眼科)
昭和大学東病院
眼科より



遠武 孝祐
(産婦人科)
昭和大学病院
産婦人科より



村島 一平
(救急センター)
藤が丘病院
整形外科より



三科 美幸
(産婦人科)
昭和大学病院
産婦人科より



泉山 仁
(脳神経外科)
藤が丘病院
脳神経外科より



関川 高志
(内科)
豊洲病院
内科より



相田 貞継
(外科)
豊洲病院
外科より



國井 紀彦
(脳神経外科)
藤が丘病院
脳神経外科より



葭葉 清香
(歯科口腔外科)
昭和大学
顎口腔疾患制御
外科学より

【配置転換】

- ・ 王 興栄 (救急センター ⇒ 整形外科)
- ・ 佐藤 裕樹 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ・ 林 靖子 (救急センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 谷坂 優樹 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ・ 矢川 裕介 (救急センター ⇒ 消化器センター)

【学外研修終了】

- ・ 岡 ジェニファー 由衣 (消化器センター)
- ・ 桜井 達也 (消化器センター)
- ・ 五十嵐 健太 (消化器センター)
- ・ 川村 雄剛 (消化器センター)

異動 退職医師

1月～3月

【附属病院へ】

- ・ 武田 豊明 (産婦人科 ⇒ 昭和大学病院 産婦人科)

【長期学外研修】

- ・ 堀内 一哉 (呼吸器センター)
- ・ 嶋田 摂也 (眼科)
- ・ 鬼丸 学 (消化器センター)
- ・ 久行 友和 (消化器センター)
- ・ 小形 典之 (消化器センター)
- ・ 森 悠一 (消化器センター)
- ・ 矢野 雅彦 (消化器センター)

【退職】

- ・ 工藤 行夫 (メンタルケアセンター)
- ・ 苅部 瑞穂 (産婦人科)
- ・ 福井 俊哉 (内科)
- ・ 喜瀬 広亮 (循環器センター)
- ・ 小田井 剛 (内科)
- ・ 永田 将一 (女性骨盤底再建センター)
- ・ 須藤 晃佑 (消化器センター)
- ・ 福下 貴子 (放射線科)
- ・ 島津 玲奈 (麻酔科)

異動(昭和大学江東豊洲病院へ)

- ・ 嶋田 顕 (内科 ⇒ 内科)
- ・ 鈴木 孝明 (こどもセンター ⇒ こどもセンター)
- ・ 出口 義雄 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 前田 昭彦 (整形外科 ⇒ 整形外科)
- ・ 鬼丸 学 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 長谷川 裕基 (眼科 ⇒ 眼科)
- ・ 林 圭一郎 (女性骨盤底再建センター ⇒ 泌尿器科)
- ・ 池田 晴夫 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 久松 篤 (内科 ⇒ 内科)
- ・ 難波 北人 (外科 ⇒ 一般救急外科・形成外科)
- ・ 池田 尚人 (脳神経外科 ⇒ 脳血管センター)
- ・ 林 隆広 (外科 ⇒ 一般救急外科・形成外科)
- ・ 渡辺 仁資 (歯科・歯科口腔外科 ⇒ 歯科・歯科口腔外科)
- ・ 大槻 克文 (産婦人科 ⇒ 周産期センター 産科)
- ・ 小原 千明 (心臓血管カテテル室 ⇒ 循環器センター)
- ・ 伊藤 寛晃 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 佐野 仁美 (麻酔科 ⇒ 麻酔科)
- ・ 坂上 聡志 (外科 ⇒ 一般救急外科・形成外科)
- ・ 井川 三緒 (こどもセンター ⇒ こどもセンター)
- ・ 木村 真也 (麻酔科 ⇒ 麻酔科)
- ・ 佐藤 千晃 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 斎藤 佳範 (内科 ⇒ 内科)
- ・ 井上 晴洋 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 鈴木 道隆 (消化器センター ⇒ 消化器センター)
- ・ 道端 浩三郎 (外科 ⇒ 一般救急外科・形成外科)

昭和大学江東豊洲病院開院のご案内

～ご案内～

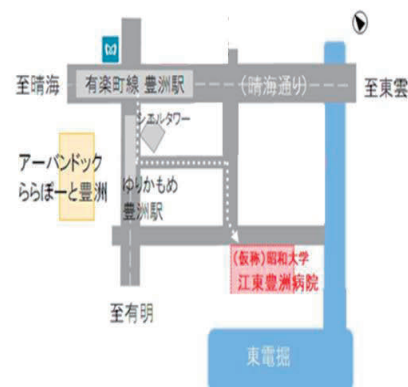
昭和大学江東豊洲病院

平成 26 年 3 月 24 日 (月) 開院



昭和大学 江東豊洲病院 03-6204-6000

※お手数ですが 3 月 24 日以降にお問い合わせ下さい。



地下鉄有楽町線 豊洲駅 6b 出口「豊洲シエルタワー」 徒歩 6 分

ゆりかもめ豊洲駅 徒歩 6 分

診療統計

2013 年 12 月～2014 年 1 月統計データ()内は 1 日平均

診療実日数 12 月 (入院: 31 日・外来: 23 日)、1 月 (入院: 31 日・外来: 23 日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
12 月	30,464 人(1,324.5 人)	17,061 人(550.4 人)	357 件(11.5 件)	664 件(34.9 件)
1 月	29,658 人(1,289.5 人)	15,897 人(512.8 人)	410 件(13.2 件)	608 件(32.0 件)

地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院**として

高度な医療を提供してくために地域の医療機関と役割分担を行っています。

そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医（ファミリードクター）**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。“かかりつけ医”の情報源としてお役に立てれば幸いです。

(過去掲載分(都筑区の先生方)につきましては北部病院HPをご参照下さい。

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/pr/press/>)



※ご提出頂いた順で掲載しております。

精神科／心療内科

横浜市営地下鉄、東急東横線日吉駅より徒歩1分

日吉心のクリニック

港北区日吉本町1-20-16

日吉教養センタービル3F

TEL: 045-563-8319

<http://kokoronoclinic.net/hiyoshi/>



院長 新開 浩二 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～17:00	●	—	●	—	—	●	—	—
10:00～19:00	—	●	—	—	●	—	—	—

東横線日吉駅西口徒歩1分。待ち時間につきましても、なるべく短くなるよう工夫をしております。うつ病の患者さんを中心に、不眠や自律神経失調症など幅広く対応させていただきます。皆様が不安に感じておられることに丁寧にお答えし、一緒に相談しながら歩む医療を心がけております。適宜、漢方治療も取り入れておりますので、お気軽にご相談ください。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:

■趣味/特技:読書とジョギングが大好きです

内科／眼科／胃腸内科／外科／肛門外科

東急田園都市線青葉台駅よりバス6分

若草台内科眼科外科クリニック

青葉区若草台4-16

TEL: 045-960-3301

<http://www.wakakusadai-cl.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	—	●	●	—	—
15:30～19:00	●	●	●	●	●	—	—	—

※眼科は18:00で診察終了となります。



院長 諏佐 典生 先生

身近な総合家庭医を目指し、小さなお子さんからご高齢の方まで、内科・眼科・外科に幅広く対応しています。お気軽にご来院ください。

宮本内科循環器科クリニック

青葉区みたけ台3-18パルコートイダ101

Tel: 045-978-5052

<http://www.myclinic.ne.jp/miyamotocl>

院長 宮本 憲雄 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～13:00	●	●	●	—	●	●	★	—
15:00～20:00	●	●	●	◎	●	△	—	—

◎木曜日の午後は14:00～18:00

△土曜日の午後は15:00～18:00

★日曜日の午前は9:00～12:00(第4日曜日は休診)

高血圧・不整脈・狭心症等循環器疾患をはじめ、広く内科全般疾患を診療しています。地域の皆さんが受診しやすい様に土曜日午後や一部日曜日診療も行っています。

昭和大学横浜市北部病院の他にも、当院近くの昭和大学藤が丘病院や地域中核病院との紹介や逆紹介も行っています。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 地域の家庭医

■趣味/特技: テニス

藤が丘耳鼻咽喉科

青葉区藤が丘2-6-9

Tel: 045-971-8711

<http://www.fujigaokajibika.com>

院長 金井 清次 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	—	●	—	●	●	—	—
15:00～18:30	●	●	●	●	●	◎	—	—

◎土曜日の午後は13:30～15:00

藤が丘の駅南口から340mにあるクリニックです。電話による予約も可能です。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 健康

■趣味/特技: エアロビクス、ゴルフ、

村上医院

青葉区鴨志田町540-5

Tel: 045-961-3749



院長 村上 嘉明 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	—	●	●	●	—	—
15:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—	—

「医は仁術」患者さんに寄り添った分かり易い医療を心掛けております。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 患者さんに寄り添った医療

■趣味/特技: 読書、秘湯探訪、囲碁

吉田内科クリニック

青葉区市ヶ尾町1075-1

Tel: 045-972-7711

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～17:00	●	-	●	●	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は14:00～16:00



院長 吉田 秀樹 先生

私は消化器・肝臓病の専門医です。B型・C型肝炎の治療や内視鏡診断を行っています。大学病院では循環器科、救命センター、健康管理部に勤務していました。幅広くご相談いただけたと思います。

～院長先生に一問一答～

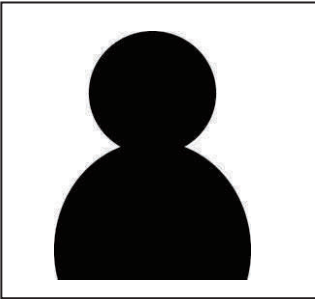
- 座右の銘又はモットー: 初心忘るべからず
- 趣味/特技: サッカー

リムクリニック

青葉区青葉台2-9-10第37ビル2階

Tel: 045-983-5600

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～19:00	●	-	●	●	●	-	-	-



院長 木村 敬子 先生

患者さんの立場に立った医療を心がけています。胃・大腸内視鏡は、苦しさや痛みを感じないように検査しており、多くの患者さんに再診していただいております。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 誠心誠意
- 趣味/特技: テニス

鈴木ペインクリニック

青葉区藤が丘1-28-17T-BOX3F

Tel: 045-979-1374

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~yumicli/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	-	●	●	●	-	-
15:00～19:00	●	●	◎	●	●	-	-	-

◎水曜日の午後は第1、第3のみ14:00～17:00



院長 鈴木 結実人 先生

神経ブロック専門医院です。少しでも早く痛みから解放されるように、様々な神経ブロック治療を駆使して治療にあたっています。患者様になごんでいただける様、院内の装飾も季節ごとに変えております。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: インナーマッスルトレーニングで症状悪化を防ぎましょう
- 趣味/特技: 自転車、自動車、車輪のあるものはすべて好きです。

新横浜形成クリニック

港北区新横浜2-17-11アイズプラザ2階

Tel: 045-471-2228

<http://新横浜形成クリニック.com>

院長 岩波 正陽 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	●	-	●	●	-	-
16:00～17:00	●	●	●	-	●	●	-	-

形成外科と美容外科、2つの専門医資格を持つ院長が担当します。
院長は昭和大学形成外科兼任講師でもあり、セカンドオピニオンにも対応します。見た目に関するすべてのご相談にお答えします。

～院長先生に一問一答～

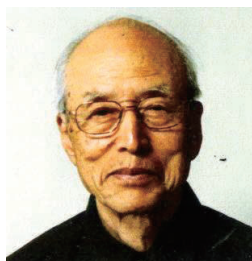
■座右の銘又はモットー: 鬼手仏心

■趣味/特技: 料理・パソコン

八木医院

港北区日吉本町1-1-6

Tel: 045-561-2095



院長 八木 光 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～11:30	●	●	●	-	●	●	-	-
16:00～17:00	●	-	●	-	●	-	-	-

内科全般、強いて言えば呼吸器を専門としています。
毎日の診療の8割は高齢者です。肉体面だけでなく、日常生活や精神的なケアにも心がけています。

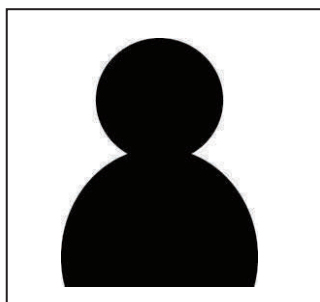
松村整形外科

港北区新羽町1625

Tel: 045-547-1212

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	◎	-	-
15:00～18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前9:00～14:00



院長 松村 研三 先生

対応する疾患及び治療として、筋・骨格系及び外傷領域の一次診療を行っています。

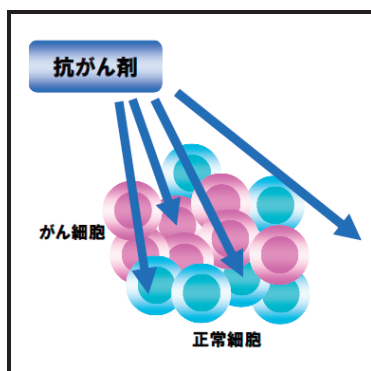
患者さんへのお知らせ・お願い

総合相談センター通信 vol.15 ≪がん治療に使うお薬と副作用ついて≫

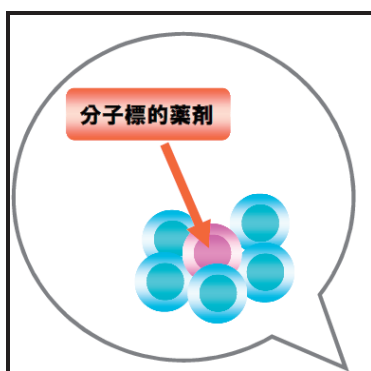
総合相談センターでは、お薬に関する相談も多く寄せられます。相談の中には「抗がん剤治療をしているが副作用に悩んでいる」など、薬の不安に対する相談が増えてきています。がん薬物治療は新規抗がん剤や分子標的薬の登場とともに、注射剤から経口剤へ、入院化学治療から外来化学治療への移行が進み、在宅でがん治療を受ける患者さんが増えています。円滑に治療を進めるためには副作用の管理が重要となるため、今回は抗がん剤治療の副作用について、薬剤師の立場よりご案内致します。

■抗がん剤と分子標的薬の違いとは？

抗がん剤は、細胞そのものを傷つけたり分裂を邪魔したりして細胞を殺す作用を持っています。がん細胞だけではなく正常細胞にも効いてしまうため、副作用が起こります（無差別攻撃）。一方、分子標的薬は、細胞が生きるために必要な成分を標的として、細胞の成長を止めることで作用を発揮します。がん細胞と同じ標的成分がある正常細胞にも影響するため、副作用が起こります（ピンポイント攻撃）。



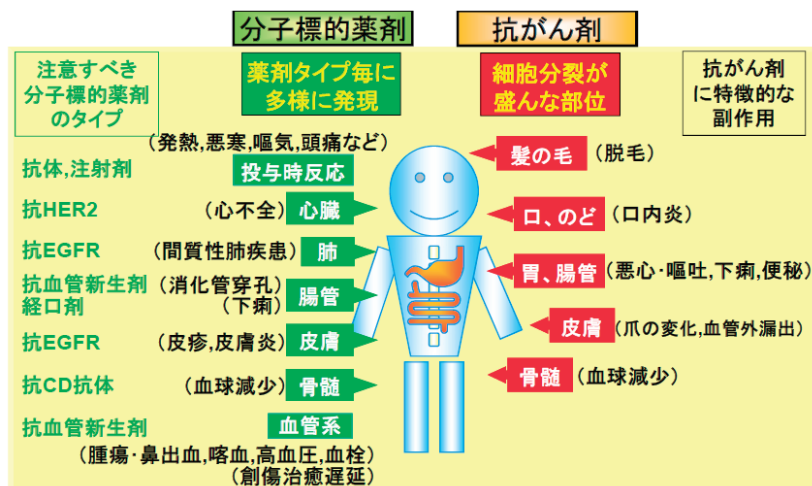
≪無差別攻撃≫



≪ピンポイント攻撃≫

■副作用で起きやすい部位・症状とは？

抗がん剤は細胞分裂が盛んな細胞、分子標的薬は標的成分が多い細胞で起きやすくなります。



北部病院には「がん薬物療法認定薬剤師」といった、がん薬物の専門資格者がいるので、患者さんの強力な味方になってくれるよ



■副作用で起きやすい部位・症状とは？

副作用は薬の種類によって症状・程度が異なります。薬の反応も人によって異なり、個人差が非常に大きいです。予測できる症状には予防対策が立てられるため、治療を受けるときは副作用について医師・薬剤師・看護師から説明を聞き、正しく理解しましょう。

また、総合相談センターでも相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

患者さんへのお知らせ

春季公開講座を開催します

●日時：平成 26 年 5 月 24 日（土）13 時～16 時

●場所：昭和大学横浜市北部病院 西棟 4 階講堂

●受講料：無料

第 1 講演：（仮）市販薬の正しい飲み方

第 2 講演：（仮）認知症認定看護師について・認知症患者さんとの関わり方について

事前申し込みは不要です。当日直接会場へお越しください。

今後詳細が決まり次第ご案内いたします。

がん患者サロンの時間が変更になります

当院では、がん患者さんやご家族が知り合って、悩みや不安を分かち合い、気軽に集う語らいの場としてがん患者サロン「きぼう」を開催しております。このサロンは患者さんやご家族が中心になって運営するサロンを目指しています。平成 26 年 2 月より開催日程が変更になりましたのでお知らせいたします。参加には事前登録が必要になりますので、ご興味のある方は総合相談センター（中央棟 1 階）までお越しください。多くの方の参加をお待ちしております。

日程：毎月第 3 木曜日（祝日にあたる第 3 木曜および 8 月は休会）

時間：14 時～16 時（出入り自由）

場所：北部病院 中央棟 9 階 会議室

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告し改善に努めております。

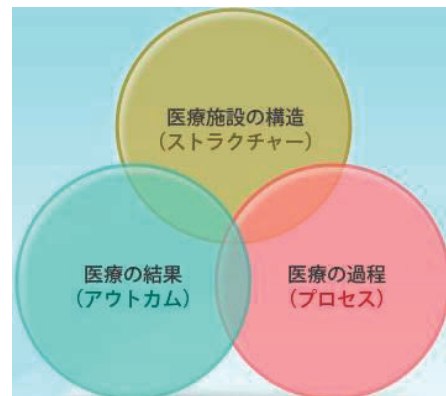
今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	改善等
心細い思いで入院したが、病院スタッフのみなさんのおかげで安心して入院生活を送ることができた。 入院食が少し冷めており、味をもう少し改善してもらえると嬉しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 入院食は、適温で提供できるよう温冷配膳車を使用しておりますが、盛り付けの間に冷めてしまったり、配膳車の庫内温度が下がってしまう事が考えられます。適温を保てるよう定期的に点検を行い、盛り付け後、保温に努めるように致します。 食事の味や内容については、アンケート結果や検食評価、患者さんのご意見をもとに検討しておりますが、今後も栄養科一同改善に努めてまいります。
院内駐車場の 1 日最大利用料金を明記してほしい。	入院される患者さんで、駐車場を利用される場合は、1 日 1,600 円の費用が発生致します。駐車場利用料金については、精算機や病院ホームページ等にてご案内しております。 また、現在、駐車券に利用料金の一覧を載せることを検討しております。

昭和大学横浜市北部病院では 2012 年 7 月に Quality Indicator(QI)委員会を立ち上げました。2013 年の公開を目標として、一般の方に理解されやすく、また医療の質向上に有益と考えられる指標を、(1)ストラクチャー、(2)プロセス、(3)アウトカム別、また部門ごとに検討してきました。

Donabedian (1919-2000)は 1966 年に発表した論文で『医療の質』は、
 (1)ストラクチャー（構造）：施設、医療機器、スタッフの種類や数など
 (2)プロセス（過程）：実際に行われた診療や看護の内容
 (3)アウトカム（結果）：診療や看護の結果としての患者の健康状態
 の 3 つの側面について評価できることを提唱しました。



一方、米国医学研究所 (Institute of Medicine) によれば、医療の質とは「個人および集団に対する診療行為が望まれた健康状態をもたらす可能性の高さであり、かつ、最新の専門知識と合致する度合いをいう」と定義されています。「望まれた健康状態をもたらす可能性の高い、最新の専門知識と合致する医療」とは、根拠(エビデンス)に基づいた医療 (Evidence-based Medicine ;EBM) に他ならず、医療の質とは、EBM に則った医療をどのくらい行っているかと言い換えることも出来ます。一方、実際の診断や治療の内容という専門技術的な質だけではなく、患者の満足度に代表されるような対人関係や快適さを中心に考えた医療の質も考えられます。

Quality Indicator(QI)とは具体的な医療体制、診療内容、診療結果から、このような医療の質を数値化した指標です。これを公表することにより、病院機能の定量的な可視化が可能となり、またこの指標をフィードバックすることにより客観的な指標に基づいて、医療の質の向上に取り組むことが出来ます。

これらの指標を継続的に検討することにより医療の質向上に努めるとともに、医学の進歩を反映する新たな指標の導入についても随時検討して行きたいと考えています。

◆ 剖検実施率 ◆

単剖検とは、主治医による懸命な治療のかいなく不帰の転機に至った患者さんに対し、ご家族が同意して下さった場合に病理医が解剖を行うことで、病理解剖とも呼ばれています。剖検実施率とは、病院内で死亡退院された患者様における剖検した患者様の割合を示しています。解剖を行った患者さんは、当院では基本的に全症例に対して臨床病理検討会 (Clinicopathological Conference ; CPC) を実施し、主治医を含めた臨床医と共に、生前の診断や治療が正しかったのか、抗がん剤などの治療効果について振り返りを行っています。これは、解剖させて頂いた症例と同様の症例を今後経験した場合に、診断や治療に活かすことにつながります。

日本における剖検の年間実施件数は 2009 年から 20,000 件を下回っており、年々減少傾向にありますが、剖検は将来的な医療水準の向上のためには重要であると考えられます。

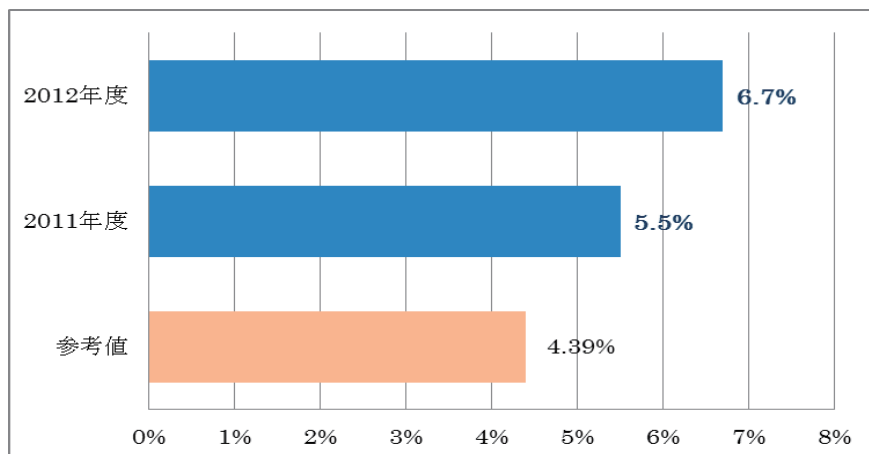
- 当院値の定義・算出方法

【分子】	剖検実施件数	× 100
【分母】	当院における死亡退院患者数	

単位

%

一年次推移



※参考値：平成 22 年 3 月 財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価データブック 平成 20 年度より

当院値をどうみるか？

日本医療機能評価機構のデータと比較すると、当院の数値は 1-2%程度上回っており、昨年度と比較しても 2012 年度は剖検率の上昇がみられます。

“剖検率の維持と、臨床病理検討会での振り返りを重視 患者さん、ご家族との信頼関係の構築”

全国的に剖検率が低下しているなか、当院においては引き続き剖検率の維持を目指し、医療水準向上の一助としての責を果たしたいと考えています。また、未来の医療の発展のためにも、臨床病理検討会には研修医の出席を義務付けており、医療職として早期から死因や病態の解明にも関心を持てるよう努めています。

亡くなられた患者さんの身体に刃を入れることは、ご家族としては非常に悩まれ、受け入れられない場合もあると思います。剖検について正しく理解して頂き、剖検率の向上を図るために、日頃から患者さんやご家族と全職員、特に主治医が信頼関係を構築できるよう、誠心誠意をもった医療を実施する姿勢が重要です。

横浜市立荏田南中学校の生徒が職業体験をおこないました

平成 26 年 1 月 29（水）30 日（木）の 2 日間、横浜市立荏田南中学校の生徒 4 名が当院で職業体験をおこないました。当院での職業体験は、今年度 3 校目となります。

警備業務や受付業務の体験、臨床検査部での検査体験、手術室の見学等を行いました。2 日目には栄養科で調理や配膳の体験をおこない、昼食では患者さんと同じ入院食を実際に食べていただきました。

中には医療関係の職業に興味があるという生徒さんもあり、貴重な経験ができて良かったと話していました。



北部イベント

第4回北部医学会・医療安全フォーラムを開催しました

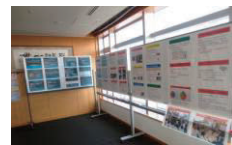
第4回北部医学会が平成25年2月23日（土）に開催されました。43 演題に計 120 人を超す職員が参加、互いの研究や業務改善の成果を発表し、大好評のうちに終了しました。その後パネルは中央棟 9 階に展示され、3 月 3 日～7 日の間一般公開されます。

【最優秀賞（同率）】

- ・全自動尿中有形成分分析装置の検討（臨床病理検査室）
 - ・分娩時大量出血症例に対する I V R（産婦人科）
 - ・昭和大学におけるリンパ浮腫患者管理をどうするか
- 2）リンパ浮腫治療施設研修を通して学んだこと—私たちが次にすべきことはこれだ！—（4A）

【学術奨励賞】

歯科・歯科口腔外科における摂食・嚥下障害患者に対する歯科衛生士の取り組み（歯科・歯科口腔外科）



横浜市C型肝炎講演会を開催しました

2 月 1 日（土）に、当院西棟 4 階講堂にて平成 25 年度横浜市 C 型肝炎講演会を開催致しました。『C 型肝炎とその治療法』をテーマに、消化器センターの大越章吾先生にご講演いただき、34 名の方々にご参加いただきました。肝炎の予防から治療法まで、参加者からは、「わかりやすくご説明いただき、理解を深めることができました」「新薬のことなどとても参考になりました」といった感想をいただきました。また、質疑応答では、「新薬について」、「今後の肝炎治療について」などの質問がありました。



都筑区防災訓練に参加しました

平成 26 年 2 月 22 日（土）に都筑区の防災訓練に参加しました。今回北部病院は、都筑区医師会がトリアージと応急処置を行った重症患者を受け入れるという訓練を行いました。防災用の無線や車輪付きの担架を使用したり、区の職員と当院の職員の連携を確認するなど、実際の場面に則した形の有意義な訓練となりました。

来年度も引き続き訓練を重ね、皆様に安心してご来院いただける病院を目指して参ります。



編集後記

北部病院は昭和大学付属 7 病院の末っ子として 2001 年春に開院しました。開院にあたり、他の附属病院から多大な支援を受け、加えて地域や患者の方々ご理解、ご協力を得て本院は横浜市北部地域の中核病院として機能しています。この 3 月、昭和大学豊洲病院が昭和大学江東豊洲病院として新装、開院します。各附属病院は江東豊洲病院がスムーズに開院、稼働できるように全面的に支援しています。北部病院からも、多くの医師を始めとしたスタッフが新病院へ異動となります。担当医や担当スタッフの異動により、北部病院の患者さんにはご迷惑を掛けることもあると思いますが、新病院は東京オリンピック開催を控えた湾岸地区の基幹病院として重要な任務を担うことになります。どうかご理解をお願いします。

広報委員会 委員 緒方浩顕

北部病院だより 第 82 号

平成 26 年 3 月 1 日発行

発行責任者 田口 進（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 大越 章吾（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。